

栃木県教育福祉振興会は

新採時～80歳まで



振興会は、『前期部会』にご加入いただいてから、60歳以降は『後期部会』として、80歳まで途切れることのない福利厚生を提供しています。新採時から80歳まで、会員の皆様に寄り添う事業を行っています。



新採

前期会員

60歳

後期会員

80歳

前期会員としての掛金を納入(毎月の給料から控除)

前 期 部 会

◆他にも永年会員祝金
(20年・30年)など

●38歳～後期移行登録者

△後期への移行に必要な掛金の積立(準備期間)

◆医療費補助(自動給付)や
人間ドックの補助

後期部会
への
移行手続き

※移行後は、掛金の納入は必要ありません！

後 期 部 会

◆一般的の生命保険とは異なる医療費補助
(75歳まで)や人間ドックの補助など、様々な給付が80歳まで受けられます。

掛金55万円
必要

近い将来のため・自分のため・選択肢を増やすため

今から準備が必要です

★60歳以降も医療費補助や人間ドックの補助などの、福利厚生を継続させるため

★60歳のときの状況で判断できるよう、選べるようにするため

「60歳以降の生活に備えて」の準備

それが 38歳からの後期移行登録です

60歳以降の『後期部会』への移行に必要な掛金を満38歳から分割納入できる制度

例) 満38歳から23年間 × 月2,000円 = 60歳時の積立額 552,000円

例) 満51歳から10年間 × 月2,000円 = 60歳時の積立額 240,000円

*後期部会への移行に必要な掛金は、会員1名55万円です。

後期部会説明会出席者(60歳)の“生の声”です

(移行登録会員の声)

○塵も積もれば山となるとは、のことね！！ よかったわ。この状況ならどちらか選べるわ。

○積立してきた掛金もあるので、移行の時に負担がなくて嬉しいです。

○「登録しておいたほうがいいよ」という先輩のアドバイスに感謝です。

(移行登録していなかった会員の声)

○なんで積立の掛金が0円なんだろう…。

○積立額がないと55万円の出費か…痛いなあ。当てにしていた退職金が使えないで移行は諦めます。

安心



60歳のときに、後期部会へ「移行するか」「退会するか」選べるので“安心”して登録。

選択肢を増やすには、移行登録『していったか』『していなかった』が、大きな分かれ道です。

近づくにつれて感じる
“定年退職後の不安”



1. 経済 (年金・生活の不安)
2. 健康 (病気・医療費の不安)
3. 社会 (人とのつながりの不安)

“不安”がたくさん。
どうしよう…
“その不安”をひとつでも“安心”に変えられたらなあ…いちばんは、健康に生活したいなあ。

後期部会の補助があれば“安心”

- ◆人間ドックを受診したとき補助が受けられます。
- ◆病院で受診したとき、入院・外来どちらも補助の対象になります。
薬局分も合算して補助が受けられます。

ぜひお勧めしたい！振興会の特別な制度

後期移行
登録者

38歳から登録できる

後期部会移行に必要な掛金を満38歳から分割納入できる制度です。

小さな準備が将来の安心に

教職員ではない
配偶者分も登録可
(2人分で毎月4,000円)

後期部会に移行
しやすくなる

まとめた資金が
確保できている

毎月2,000円を
給与から
自動的に控除

- ① 後期部会への移行時の負担を大幅に軽減
(80歳までの福利厚生の確保)
- ② 満60歳時点で移行されない場合、全額還付
(その時に必要な資金が得られる)

振興会の『前期部会』に加入している会員のみが登録できる、教職員の特別な制度です。配偶者も一緒に登録することで、配偶者の将来の安心に繋がります。

80歳まで続けられる教職員の福利厚生「後期部会」

前期部会の会員としての給付助成は、満60歳を迎えた年度末で終了となります。振興会会員の福利厚生を引き続き受けるためには、「後期部会」への移行手続きが必要となります。

参考

医療費補助金 75歳まで



年度上限3万円

【給付対象期間】

満75歳(誕生日)まで

保険適用による自己負担金の合計額が2,000円以上の場合、5割を給付(100円未満切捨)

「今」ではなく、「これから」

80歳の誕生日まで、さまざまな給付助成が受けられる「後期部会」。合計9種類の給付助成、会員サービスについて、いずれ誰もが迎える定年後も教職員の福利厚生として提供しているのは、当振興会のみとなります。

将来のため・自分のため

将来のための備えがあるかどうか…。取り巻く環境は、ますます不安定さを増している中、**自分の生活を守るため、今から何ができるのか**、考えてみてはいかがでしょうか。

※その他の給付助成は、振興会ホームページにて。

参考

人間ドック助成 80歳まで

要:領収書(原本)



年度1回上限1万5千円

会員が、1泊2日又は日帰りの人間ドック(脳ドック、婦人科検診、市町健診等も含む)のいずれかを利用(料金2千円以上)したとき。

※保険適用ではない検診なども該当

※令和9年度から「医療費補助金」「退会給付金」「死亡弔慰金」の内容等が変更になります。

